

# 第9回「青山68会作品展」の報告

田中 光弥 (68回) 60卒

去る9月5日(水)～9日(日)まで、新潟市のNSTギャラリーにて青山68回卒業生(1960年・昭和35年)とその家族による作品展が開催されました。第1回は、平成16年9月でした。当初は継続する予定ではありませんでしたが、その終了後の打ち上げ反省会で、ぜひ来年もやろう！と、皆で盛り上がりつつも8年も経過しました。

まず、入り口前には片桐靖孝による手作りの絵風の案内板が迎えてくれます。そして世話役の若松昌弘の挨拶文には、「出品者は、半世紀以上も前の高校の文化祭気分です。」とあります。会場の中に入ると、青木彰による自主録音制作のCDからのBGMが流れています。まず始めにお眼に留まるのは、特別出品をお願いしている、長谷川義明・青山同窓会会長による掛軸の書です。そして、多士濟々のメンバーとその家族の28人による、各種の絵画から書・陶器・手芸品・写真・能面や帆船模型などの41作品が展示されました。また8日(土)には、特別協賛として昨年に続き、

メンパーの江戸千家・真野宗昭社中による抹茶のサービスも行われました。会場の設営・準備から後始末・撤去まで、すべて68会メンバーの協力によるイベントでありました。この日の為に、それを励みに、制作に勤む古希を過ぎた面々の1年間の成果の発表の場でした。

青山68会としては、これまでに料理教室・絵画教室もメンバーの指導により行われて来ました。そして山歩きの会やゴルフ会や茶道の会は活発に行われていきます。お互いにそれぞれの持てる力と知識を出し合っ、リタイア後の生活を少しでも高めようと、協力し集まっています。さて来年は10回目となるわけですが、皆が元気で「有終の美」を飾るべ

く？、今から準備にかかることと思います。そしてお陰様で今回の来場者数は300人余にも及び、会場を盛り上げて頂いた皆様のご協力に感謝いたします。また来年にもお会いできますように。

その他の詳細・会場の様子については、「青山68会」のホームページをご覧ください幸いです。

<http://www.kitamurass.co.jp/aoyama68>

